

会場

会津風雅堂
福島県立博物館

平山素子ダンスワークショップ

日時 / 7月4日(土) 13:30~15:00
会場 / 会津風雅堂リハーサル室
内容 / カラダのつくりを意識しながら動きを様々なヒントにより変化・発展させ、創造する喜び、踊る楽しみに触れていきます。定員30名
対象 / ダンスに興味のある中学生・高校生・一般(経験は問いません)
料金 / 無料
(福島県立博物館まで電話でお申し込みください。先着順となります。0242-28-6000)

平山素子ダンスパフォーマンス

日時 / 7月5日(日)
13:00~13:30 16:00~16:30
会場 / 福島県立博物館部門展示室周辺
共演 / 中川 賢
料金 / 無料(常設展チケットが必要です)
注意 / 会場の性質上立ち見となります

対談「見直すカラダ」

日時 / 7月5日(日) 14:00~15:00
会場 / 福島県立博物館視聴覚室(予定)
演題 / 講演「見直すカラダ」
講師 / 平山素子
渡邊晃一(福島大学准教授)
赤坂憲雄(福島県立博物館長)
料金 / 無料(常設展チケットが必要です)



平山素子 ひらやまもとこ

コンテンポラリーダンサー、振付家
筑波大学人間総合科学研究科准教授

愛知県出身。筑波大学大学院体育研究科修了。99年世界バレエ&モダンダンスコンクールにて、金メダルとニジンスキー賞をダブル受賞。01年文化庁派遣在外研修員としてベルギーへ留学。帰国後、数多くの作品にダンサーとして出演、近年は振付家としても意欲的に活動。06年ソロ『Revelation』をS・ザハロワ(ポリショイ劇場バレエ団)に振付。08年フランクフルトと上海(国際芸術祭)にて自作ソロ『DANAÉ—Sonzai Design』を上演。新国立劇場公演07年『Life Casting—型取られる生命—』は第7回朝日舞台芸術賞、キリンダンスサポート受賞(09年11月東京、兵庫、松本にて再演予定)。08年『春の祭典』は芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞など、斬新な構成と演出、芸術性が高く評価されている。

また、音楽家や美術家とのコラボレーションに加え、ミュージカルの振付、さらにはシンクロナイズドスイミング日本代表のデュエットに振付協力し、北京オリンピック銅メダル獲得に貢献するなど、日本のダンスシーンをリードする存在として注目度が高い。

■公式Webサイト www.motokohirayama.com

文化庁平成21年度「文化芸術による創造のまち」支援事業

現代芸術と伝統の融合 芸術による会津の都づくり

けんぱくで見直すカラダ

主催：現代芸術と伝統の融合「芸術による会津の都づくり」プロジェクト実行委員会・福島大学・会津風雅堂・福島県立博物館
後援：会津若松市教育委員会

平山素子

福島県立博物館を利用したダンスパフォーマンスの初の試み。展示室に並ぶ化石・鉱物、縄文土器などの資料は太古のエネルギーと古代の人々の息づかいを発しています。今回は平山素子氏監修・演出・構成、美術家・渡邊晃一氏の空間美術によりダンスパフォーマンスが実現。現代の生の身体と古(いにしえ)のエネルギーが時空を超えて融合します。平山素子氏は高い身体能力と豊かな表現力で日本のダンスシーンをリードする存在。昨年度は、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞するなど芸術性が高く評価されています。併せて、ワークショップ、福島県立博物館長・赤坂憲雄との対談もご期待ください。

Dance Performance